

一 般 質 問 要 綱

平成 22 年第 3 回 3 月定例会

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	29	山 口 和 男	1 市長の政治姿勢について	<p>(1) いきいきと暮すことができる「新生喜多方市」とは。「均衡ある発展」とは ア 市長の見解は合併失敗との総括の上で標記の表現になっているのか。 イ 市町村間の住民の負担と義務との関係での均衡ある発展についての考え方を示してほしい。</p> <p>(2) 将来を担う若者が自信と誇りを持っていきいきと働ける場、活動できる環境とは ア 高卒予定者の就職内定率、当市の失業率はどの位いか。 イ 県民所得は何を表すか。又、当市のそれは県内 13 市の中、どの位置で所得額は何を読み取る事ができるか伺います。更にア、イをどう改善しようとするのか具体策を伺います。</p> <p>(3) 市民が安堵感をもって暮せるぬくもりのある行政とは ア 前市長の医療・福祉政策は安堵感が欠けていたとの認識か。</p> <p>(4) 小学六年生までの医療費無料化について ア 中期財政計画と財源は。優先順位と実施までのプロセスは</p> <p>(5) 22 年度当初予算について ア 新規事業を各部課毎に示せ。その事業総額と財源内訳を伺います。 イ 会津喜多方中核工業団地の投資額と断念に係る対応について</p> <p>(6) 市長の履歴について</p>
2	8	遠 藤 金 美	1 一般行政	<p>(1) 市長の施政方針等について</p> <p>(2) 平成 22 年度一般会計当初予算について</p> <p>(3) 業務委託について</p>
3	7	渡 部 信 夫	1 市長の公約について	<p>(1) 活力ある商工業の振興について ア 公約「緊急雇用対策の充実と就業機会創出の支援」は、具体的にどのように進めていく考えか伺います。 イ 公約「企業誘致の条件整備とトップセールスによる積極的な企業誘致」については、これまで条件を整えながらも誘致が実現しない現状をどのように精査し、具体的にはどのように進めていく考えか伺います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				(2) 特徴ある農林業の振興について ア 公約「喜多方市独自の農林業ビジョンを策定」について、考え方を伺います。 イ 公約「新規就農者への支援拡大と担い手の育成」について、具体策を伺います。
			2 合併特例区の解散に向けた取り組みについて	(1) 合併特例区事業について、どのような方法で総括していく考えか伺います。 (2) 合併特例区の解散を見越し、事業の廃止、継続、内容変更など、新市へ引継ぐ基本的な考え方を伺います。
			3 「農・ケア」をとり入れたまちづくりについて	市長公約における「喜多方市独自の農林業ビジョンの策定」、「有機農業の推進」、「就業機会創出」、「企業誘致」、「トータルケアによる市民健康づくり」、「介護・福祉施設の整備充実」などを進める上で、「農・ケア」の考え方が有効と思われる。 (1) 「農・ケア」について早急に研究をしてみたいか。 (2) 農業をケアプランにとり入れた施設誘致のため、中核工業団地予定地を含め、条件整備を進めてみたいか。 (3) 既存の介護・福祉施設等と農業関係団体、農業者において「農・ケア」の取り組みが進むように環境整備をおこなってみたいか。
4	3	田 部 輝 雄	1 会津喜多方中核工業団地事業の取り組みについて	(1) この事業も今年度で「断念」せざるを得なくなりましたが、以前から継続して検討して頂いている企業との交渉は、今後どのように整理されていくのか伺います。 (2) 12 月議会において、私の質問に対し市当局の答弁では「今後の対応については、地権者との話し合いを進める中、具体的に検討していきたい。」としていたが、その後どこまで話し合いが進んでいるのか伺います。 (3) 次年度以降の「工業団地造成事業」に対する市長の政治姿勢を伺います。
			2 雇用対策について	(1) 産学官連携室の業務内容で、現在の具体的な取り組みは何か伺います。 (2) 緊急雇用対策として採用してきた臨時職員の内、雇用期間の延長を図る部署はありますか伺います。 (3) 今後の雇用対策について、市長の考えを伺います。
			3 法改正に伴う市政	(1) 4 月 1 日から施行される「労働基準法の

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			への影響について	改正」に伴い、市の予算に与える影響について伺います。 (2) 6 月 30 日より施行される「改正育児・介護休業法」における市への影響について伺います。
5	1 2	長澤勝幸	1 新市長の政治姿勢について	(1) 市民との対話について (2) スポーツ振興について
			2 入札制度について	(1) 入札執行方法変更の効果について (2) 地域活性化交付金効果と物品購入について (3) 公契約制度について
6	1 6	瓜生善八	1 山口市長の政治姿勢について	(1) 経済の再生を図る為の特色ある農業や商工業の振興とは (2) 就業機会の創出や企業誘致の政策、又、子育て支援の具現化とは
			2 蔵の湯東側共有地について	土地の問題は最終結論の時期ではないか。
			3 一般行政について	(1) 道路の消雪装置管理について (2) 喜多方市全行政区名 (274 行政区) の案内看板について (3) 森林地図 (市内) の整備について
7	2 5	佐原正秀	1 地域企業の育成強化について	(1) 地域企業の協議会組織設置はどう進めるのか。 (2) 既存企業の基盤強化政策方針はどのようにするのか。 (3) 新卒者に対する企業への助成及び就職がきまらない方への対策について (4) 企業立地補助金の引き上げはどのように考えるか。 (5) 地域活性化対策はどのようなことが上げられるか。
			2 地域の健康ネットについて	(1) 地域家庭医療センター内に I C T (情報通信技術) の導入を図るべきと考えるが (2) 電子カルテ情報を市内の民間医療機関と共有するネットワークの運用は
			3 入札制度の見直しについて	(1) 最低価格の引き上げ (85~90%) について (2) 指名競争入札対象額の拡大について
			4 災害時の緊急ラジオ導入について	緊急告知 F M ラジオの導入は
8	6	富田幸雄	1 市長の政治理念・施策等について	(1) 政治理念として「寛容と実行」と述べておられるが、この言葉は本のタイトルにあたる部分であり、トビラを開いた見出し・本文について詳しく理念をお伺いいたします。

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>(2) 平成 22 年度中に実行しようとする新たな政策のなかで最重要なものは何か、お伺いいたします。</p> <p>(3) 中立・公平・公正な市政を具体的にどのような場面で、どのような方法で実施していくのかお伺いいたします。</p> <p>(4) 市長が兼務する各種団体、外郭団体、第三セクター等はどのようになっているか。また、兼務に関する認識を伺います。</p> <p>(5) 各地で行われている「事業仕分け」は行財政改革に十分有効な手段であると考えますが、喜多方市でも最も良いタイミング到来と思いますが、市長はどのような見解でしょうか。</p>
			2 環境に関することについて	<p>(1) 昨年四月から始まった本市のレジ袋有料化による削減効果をどのようにとらえるか。(実数を示して欲しい) また、平成 22 年度の取り組みを伺います。</p> <p>(2) 本市のゴミ排出量の推移と市の負担額の推移を伺います。また、排出量の削減と負担額を抑えていく方法はありますか。</p> <p>(3) I S O 14001 の取り組み成果を伺います。また、小中学での取り組み状況も併せてお伺い致します。</p> <p>(4) 野外公衆トイレの数と管理の現況についてお伺いします。また、観光客用の公衆トイレ整備は十分であるのかどうかお伺い致します。</p>
			3 観光について	<p>(1) 観光客入込数と観光収入の推移を伺う。(5 年間)</p> <p>(2) 観光行政に関わる市職員(臨時職含む)の推移。(5 年間)</p> <p>(3) 特定スポット、長床・願成寺の入込客数の推移。(5 年間)</p> <p>(4) 「きたかた喜楽里博」の総括はどのようになっていますか。また、課題は何か、お伺い致します。</p> <p>(5) 過日の「喜多方ふるさと大使との意見交換会(テーマ:きたかたの観光・まちづくり)」では貴重な意見や提言がありましたが、今後どのように施策に活かしていくのか伺います。</p>
			4 教育について	<p>環境の変化や少子高齢化、そしてグローバル化と言われる時代の中、ビジネス・経済をはじめとした社会情勢は、ますます複雑化し</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>ております。もはや、既に、過去の成功体験は通用せず、これから激しくゆれ動く時代を生き抜いていく子どもたちのための新たな教育の姿、かたちが模索されております。今、求められているのは、「人間力」を育む教育とは何か、このことが課題の一つに挙げられると思います。次の項目について教育長の高邁なる見解をお伺いするものであります。</p> <p>(1) 「スキル」重視を懸念する意見についてどうお考えか。</p> <p>(2) 自ら判断・解決できる力をどう育むか。</p> <p>(3) 「総合的な学習の時間」に教師はどう向き合い、何を教えていくべきか。</p>
9	10	渡部 孝雄	1 行財政改革について	<p>(1) 市長の行財政改革に対する基本的な考え方(市の将来像、財政のあるべき姿、負担とサービス、市民と行政の役割分担等)を伺う。</p> <p>(2) 「中長期財政計画の見直し、地域に配慮した政策を実行する」と述べているが、財政計画見直しの方向性と具体的政策あるいは構想を伺う。また、財政指標においては、これまでの年度目標をどのように見直すのか。さらに新市建設計画はこれまで3事業が中止となり、11事業が完成し、22事業が実施中、今後予定される事業を含め80事業がありますが、今後の進め方は如何か。</p> <p>(3) 「市の財政の無駄を積極的に省かなければならない」と述べているが、どこに無駄があり、どのように省こうとするのか。</p> <p>(4) 各自治体の取組みは、国の指針に基づきそれなりに実施しているところと、改革を超えた役所が生まれ変わるほどの改革に自主的、自立的に取り組んでいるところと大変な差が出てきている。市長はどちらを選択しますか。</p> <p>具体的には次のことを提案し見解を求めます。大綱では考え方の転換すなわち条例、規則、計画、手続きを忠実に実行したか否かを目的とし成果を問わない管理重視から目的目標を達成する為に、それを可能とする条例、規則、計画、手続きに変えていき、結果とそれに伴う成果を問う経営重視とすること。実施計画では、事前に成果を出せる組織・方法など仕組みを作るこ</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			2 合併特例区廃止後の総合支所と住民自治のあり方について	<p>と、結果とともにそれによって期待される時間、人数、費用などの削減効果を設定すること。</p> <p>(1) 合併後は「住民の声が行政に届きにくくなり、合併のメリットが実感できない」と指摘しています。その原因はどこにあると認識していますか。</p> <p>(2) 「市民との対話を重視した市政への転換」を最優先の課題に挙げていますが、どのような施策を考えていますか。</p> <p>(3) 「本庁の権限をなるべく総合支所に移譲する」考えを示しましたが、総合支所として存続させるのか、又、各課体制、職員数、決裁権限、予算編成権限についてはどのように考えていますか。</p> <p>(4) 特例区廃止後、地域の課題を中長期的に検討、提言し、協働事業の実施主体にもなりうる地域住民組織の創設を積極的に推進する考えはありますか。</p>
10	20	生江和雄	1 政治姿勢について	<p>今回の市長選に於いて、見事初当選を果されました山口新市長に今後の政策について、ぬくもりのある市政の実現を旗印に市の均衡ある発展に取り組む姿勢について心強い施策を期待するものであり基本的な考えを伺う。</p> <p>(1) 特徴ある農林業の振興について、喜多方市独自の農林業ビジョンの早期策定に努めるとの考えであるが具体的な施策を伺う。</p> <p>(2) 活力ある商工業の振興策について、企業誘致の条件整備とトップセールスによる積極的な企業誘致の実現について、どのような対策を考えておられるのか伺う。また、地元企業、伝統産業の育成及び商工業の活性化施策についても伺う。</p> <p>(3) 安堵感の持てる医療福祉政策の中で少子化、高齢化への的確な対応についての具体的な施策はどのようなものか伺う。また、地域医療と福祉の充実についての考えを伺う。</p> <p>(4) 教育環境の整備と人材育成についてですが、学力向上を図る為の対策とは、どのような方針のもとで具体化していくのか。また、放課後児童クラブの対象を小学校6年生まで拡大するとの方針であるが、い</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項	質問要旨
				<p>つから実施されるか。また、市内小中学校のスクールカウンセラーの配置については全校配置する考えなのか。また、いつから実現されるのか伺う。</p> <p>(5) 風格ある新生喜多方市の創造について自然環境、地域資源を最大限に活用した新生喜多方市の都市づくりと新エネルギー活用による未来型都市の創造とは、どのようなものか、その考えを伺う。</p> <p>(6) 旧町村部にある総合支所についてですが、合併特例区も平成 23 年 1 月をもって解消される状況下にあるが、合併後の行政の在り方に不満の声も多い。これらを解消する手立てとして、旧町村部にある総合支所に本庁の権限をなるべく移譲される考えを示しているようですが、支所への権限移譲の検討とは、どのような姿にする考えなのか伺う。</p>
1 1	2 2	齋藤 仁 一	1 新市長の政治姿勢について	<p>(1) 合併後 2 期目の市長選挙の中で、「一人一人の声や提言を大切に市政に反映させる」と公約しておられるが、具体的にはどのように対応するのか伺いたい。</p> <p>(2) 合併後の旧 5 市町村の「均衡ある発展」についても言及されていたが、どのように対応するのか伺いたい。</p> <p>(3) 合併時の新市建設計画については、合併後の 4 年間で計画の変更や中止になった事業がある。今後、計画の見直しも含めて検討する必要があると考えるが、どのように対応するのか伺いたい。また、変更や中止の場合には、住民への説明責任が生じることになるがどう対応するのか伺いたい。</p>
			2 総合支所の機能強化について	<p>(1) 合併後の周辺 4 町村から「周辺地域はさびれてしまう」との懸念に対し、市当局は十分に応えてこなかったとして、「総合支所の機能充実と強化」を市長選挙の中で訴えられていたが、具体的にはどのように対応する考えか伺いたい。</p> <p>(2) 特に、周辺住民からは「総合支所では用が足りない」との声があるが、その総合支所の権限についてもどのように対応するのか伺いたい。</p>
1 2	2 7	物江 和 一	1 市長の政治理念と政治信条の具現化について	<p>(1) 「寛容と実行」の政治理念のもと、喜多方市の理想とする建設計画は本市の将来都市像を「豊かで元気な農山</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>村と活力ある生活・観光都市」の実現に向けて、平成 19 年 3 月に「喜多方市総合計画」を立て、現在、進展中だが、この計画を今後どのように見直しされるつもりか。また、信条である「風格ある喜多方市の創造」とはいかなるものなのか。それをどう具現化するのか。基本姿勢と新設計画の考えを伺いたい。</p> <p>(2) 財政運営の考えと財政計画の見直しは 財政健全化は至上命題であるが、公約にある小学 6 年生までの医療費無料化等、公約を実現するためには現在の喜多方市中 期財政計画（平成 21 年度～平成 25 年度）の見直しが当然必要と思われる。健全化の基本的考えと財政計画の見直しはいつどのように取り組まれるか伺いたい。</p> <p>(3) 就業機会創出と企業誘致の具体的施策は 景気低迷により雇用環境は極めて厳しい状況にあり、就業機会創出と企業誘致は最大の行政課題として今日までも鋭意取り組んできたが、産業構造の変化等により容易に進まなかった。検証するにその他いかなる要因があったのか分析結果と今後の具体的施策を伺いたい。</p> <p>(4) 新生喜多方市の均衡ある発展を目指すとは 合併して 4 年が経過した。合併を総括するとき、市長は均衡を欠く市政運営と分析されているようだが、どのような点なのか。今後、均衡ある発展の具体的施策とは。総合支所の充実強化をお考えのようだが、今後の行政運営の考えと手法について伺いたい。</p> <p>(5) 合併特例区事業の評価と今後の継続見直しは 今年度が最終となった合併特例区事業を検証するとき、どのように評価をするのか。市政発展に有効とするなら今後の継続見直しは。(形を変えても)この施策は地域の特色を生かせる反面、合併の課題でもある一体化の醸成を阻害するとの声もあるが、いかにするのか。その考えを伺いたい。</p>
			2 園芸作物振興の積極的支援について	本市の基幹産業である農業の振興は最重要課題であるが、米を中心とした農業経営が

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				多く、今年度から施行される戸別所得補償制度でも農家所得の増大は期待が持てない。今後は米偏重から園芸作物振興への転換が必要であり、さらに施設化して有利な高品質、高価格の販売戦略を立てるべきであろう。近隣の他町村で実施しているパイプハウス等園芸施設管理運営事業を本市でも導入し、J A と連携しながら積極的に農業振興に取り組むべきと考える。本事業は市が園芸施設を取得し、利用者には 10 年程度貸付け、年間定額の貸付料を納入いただくもので、農家負担も少なく、市の財政負担も少ないものながら事業効果は極めて大なるものがあると思慮される事業実施についての熱意ある所見を伺いたい。
1 3	1 8	五十嵐吉也	1 市民による市政、市民のための市政について	市民との対話を重視した市政への転換を最優先事項に掲げられておりますが、市民による市政、市民のための市政についていかに取り組まれるのか。
			2 歳出の削減について	将来世代が義務を負う事のない様にいかに歳出削減に努められるのかお伺い致します。
			3 生活保護の受給者増について	税収減少が確実に生活保護費を確保するため予算編成をいかにされるのかお伺いします。
			4 県公共事業の負担軽減について	(1) 市の負担となっていた負担金の廃止により県は負担増となるわけで、これら関連する事業での整備計画に影響が生じるのか。 (2) 市実施の公共事業についても事務費と工事雑費の国・県の補助金廃止の影響については (3) 平成 22 年度の土木費関係で、いかにどの負担金が軽減されるのか、又、関連して農林関係でいかにほどか。
1 4	1 7	物江一男	1 新市長の政治姿勢について	(1) 市長就任記者会見において「寛容と実行を政治理念とした、市民のための市政」と話されましたが、市長が目指す市の将来像について、具体的に伺います。 (2) 合併特例区の設置期間は残すところ 10 ヶ月足らずであります。合併特例区の在り方を含め、総点検とはどのような内容なのか具体的に伺います。 (3) 市長として継承して行く重要政策は、どのようなものなのか具体的に伺います。

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>(4) 健全な財政運営についてどのように努められますか。また、小学6年生までの医療費無料化を公約されておりますが、財源確保のための方策について具体的に伺います。</p> <p>(5) 雇用環境は大変厳しい状況にあります。雇用対策を緊急の課題と位置付けておられますが、今後の具体的な施策について伺います。</p>
			2 農林業、商工業のまちづくりについて	<p>特徴ある農林業の振興と活力ある商工業の振興について</p> <p>(1) 基幹産業である農業の振興を図るため、集落営農の組織化、認定農業者加入の促進を通じた営農の効率化などが考えられます。市長は喜多方市独自の農林業ビジョンを策定されると思いますが、その内容について具体的に伺います。</p> <p>(2) 商工業の振興を図るためには、雇用に対する不安が非常に高いことから、就業創出事業の展開と今後の企業誘致の条件整備、また、積極的な企業誘致のための具体的な施策について伺います。</p> <p>(3) 「地元業者を考慮した入札制度の導入」とはどのような制度なのか、具体的に伺います。</p>
15	1	小林 時夫	1 今後の公共工事について	<p>(1) 入札制度について ア 地元業者を考慮した入札制度について伺う。</p> <p>(2) 最低制限価格について ア 最低制限価格の見直しについて伺う。</p>
			2 通学路(危険箇所)の整備について	<p>(1) 危険箇所の対策について ア 危険箇所の改善については、どのような手順で実施されているのか伺う。</p>
			3 市の駐車場管理について	<p>(1) 本庁舎駐車場の利用状況について ア 駐車場の管理体制はどのように実施しているのか伺う。 イ 利用者からの苦情は今までになかったのか。また、苦情に対しての改善はどのように実施してきたのか伺う。</p> <p>(2) 「おもいやり駐車場」制度について ア おもいやり駐車場の現状について伺う。 イ 利用証の交付実態について伺う。</p>
16	11	五十嵐三重子	1 子育て支援について	<p>(1) 子育てサポートセンターについて</p> <p>(2) 小学校6年生までの医療費無料化につ</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				いて
			2 環境について	オフセットクレジット制度について
			3 合併特例区について	特例区廃止後の事業の今後について
17	26	庄 司 弘	1 市長の政治姿勢について	<p>(1) 山口市長が誕生して、約 1 ヶ月が経過した中で、1 人ひとりの声を大切にしながら市民による市民の為の市政を謳っているが、本市の財政に対する認識を伺う。</p> <p>(2) 若者定住の条件を整備すると謳っているが、日本全体が抱える課題だと思うが、具体的条件の披瀝を願う。</p> <p>(3) 市役所が身近でない、1 人ひとりの声なかなか届かない、合併後の地域特性が、うまく活かされていない等の声を聞いて、強い危機感を感じたと述べておられますが、幸福感を作り出す為の個別的課題を伺う。</p> <p>又、「寛容と実行」を政治理念として、主張されておられるが、白井市政に対してのアンチテーゼと考えるが、前市政の非寛容な点と不実行であった具体的政策を伺う。</p> <p>(4) 市内地域経済の再生活活性化を標榜している山口市長は、痛みを分かちあうとして、給与をカットし、経済界に自己主張をし、理解と後押しを働きかけていると考えているが、消費拡大や農林、商工及び若者の就職の為に具体策を用意していると思うが、どういうメニューなのか伺う。又、着手する時期と予算規模も明示されたい。</p> <p>又、先般の全員協議会での工業団地断念は、企業誘致との整合性と合致するのかを伺う。</p> <p>(5) 「風格ある喜多方市の創造」とはどのような概念としてなのか具体的表現を願う。又、人格的なものか、環境的なものも含まれるのか、解りやすく説明を願う。</p> <p>(6) 生活環境の整備で、快適でない、安心できないとする地域の住民が、その環境調査を依頼して来られた時は、市長は少人数の要望でも、これに応えるのか決意を問う。</p> <p>(7) 「市民にわかりやすい行政」を謳っているが、今までとちがう手法としくみを考えておられるのか伺う。</p> <p>(8) 小学 6 年生までの医療費無料化を公約</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>として謳っているが、本市が財政再建途上の中では実現は困難と考えるがいかがか。</p> <p>(9) 山口市長は、合併後の各地区について一体感の醸成に疑問を持たれ、各地区等での座談会では、特例区長については、その域出身者で対応するとして、訴えて来られたはずだが、人事の決定をみると、その訴えとちがうが、約束をしてきた地区民に対してどう説明されるのか伺う。</p> <p>(10) 現在迄の山口市長の政治団体と資金管理団体として、いくつの団体を持っておられるか伺う。又、いずれ県と市へ届出されると思うが、年度をまたず、公平、公正を標榜する山口市長は自ら率先して、公表すべきと考えるが、その意志のほどを伺う。</p>
18	2	坂内鉄次	1 市長の政治姿勢について	<p>(1) 市民との対話を重視した「ぬくもりのある行政運営」を心掛け、市町村合併後の不満解消、市の均衡ある発展に取り組むことを表明しておられるが具体的にはどう進めていくのか。</p> <p>(2) 政治理念とされる「寛容と実行」について、行政運営のなかでどう具現化されるのか。</p>
			2 水源の里（限界集落）を含む山村の振興について	<p>(1) 集落支援員制度の成果と今後について</p> <p>(2) 林業振興とカーボン・オフセットの取り組みについて</p> <p>(3) 有害鳥獣対策について</p>
19	9	佐藤吉孝	1 避難施設を兼ねる小、中学校耐震化工事の進捗状況は、また今後の見通しは	<p>(1) 避難施設を兼ねる小、中学校耐震化工事の年次計画をお知らせください。</p> <p>(2) 小、中学校耐震化工事の進捗状況は、また今後の見通しは(今後の文科省の補助率を踏まえて) お知らせください。</p> <p>(3) 保育所、幼稚園の耐震診断、耐震化工事の年次計画をお知らせください。</p> <p>(4) 防災計画において小、中学校が避難施設に指定されているようですが大規模地震の時にはどのように避難施設を指定するのかお知らせください。</p>
			2 合併特例区事業の継続について	<p>(1) 合併特例区の終了に伴い、合併特例区事業の継続はあるのか。各特例区ごと、各事業ごとにお知らせください。</p> <p>(2) 特に山都町合併特例区のコミュニティバスの運行、山都町合併特例区、高郷町合併特例区、熱塩加納町合併特例区の定住化促進祝い金支給事業については、廃止の方</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				向と聞いておりますが、それにかわる何かの事業を計画しているのかお伺いします。
20	13	渡部 勇一	1 失業対策について	(1) 現緊急雇用対策の目的は何か。 (2) 雇用対策に求められるものは何か。 (3) 行政に求められる失業対策とは何か。
			2 入札制度について	(1) 現在の制度において不公平感はないか。 (2) 地元業者の定義は何か。
21	19	佐藤 一栄	1 4 公社の合併について	(1) 4 公社合併についての課題と問題について伺う。 (2) 4 公社合併基本協定の合意は喜多方市ふるさと振興株式会社への吸収合併とするとありますが、合併の株式比率、又、株主構成をどのように設定するのか伺う。 (3) 合併調整会議の中ではどのような課題が問題視されたのか伺う。 (4) 役員、公社従業員の雇用条件をどのようにするのか伺う。
			2 学校給食について	(1) 平成 20、21 年度各学校給食センター及び共同調理場における、それぞれの地元野菜類供給量と地元青果物業者団体からの仕入量の割合はどのような状況であるのか伺う。 (2) 各小・中学校給食費の納入状況について伺う。
			3 防災へり臨時離着陸場の利活用について	(1) 防災へり臨時離着陸場の完成後の防災訓練計画について伺う。 (2) 県内、他市町村での設置箇所の有無について伺う。 (3) 防災へり臨時離着陸場のその他の利活用計画について伺う。